［起案・供覧］　　［議会事務局］

起案	令和　年　月　日	決裁完了	令和6年8月8日	公印	令和　年　月　日
分類番号	401・02・03	保存期間	5年		

議長		局長	次長	課長	係長	担当者
佐々木			濱田	濱田		

第8号様式（第8条）

令和６年８月８日

習志野市議会議長　佐々木　秀一　様

会派名　公明党
代表者名　布施　孝一

出張調査等報告書

習志野市議会政務活動費の交付に関する規程第8条の規定により、下記のとおり出張調査等報告書を提出します。

記

1	出張者名	布施孝一、金井宏志、田中慶子、丸山秀雄
2	用務先	行政視察 （四街道市役所「軟骨伝導イヤホンの導入」について）
3	出張期間	令和６年５月１７日（金）
4	調査等の結果概要	別紙のとおり
5	出張に伴う経費の精算	精算額　０円

習志野市議会事務局 収 6.8.-8 受 第6-1-1号

視察報告書

令和６年８月８日
報告者：丸山秀雄

該当期間：令和６年５月 17 日(金) 10:00～
該当場所：四街道市役所　第一委員会室
視察内容：集音器付き軟骨伝導イヤホンの市民窓口への配備について
担 当 者：福祉サービス部　部長[redacted]

【視察目的】
高齢化が進み、加齢性難聴者の増加により、聞こえに不便を感じている方が増えている中で、市民・顧客へのサービスとして千葉県内で最初に軟骨伝導イヤホンを窓口に採用していることを知り、採用に関する経緯や実績の確認。

【導入背景】
「軟骨伝導イヤホン」が東京都狛江市に導入されたことを報道で知り、狛江市からアドバイスをもらい、今年度完成予定の新庁舎窓口における福祉サービスの目玉として検討開始。　その後デモ機を使用し令和６年度の導入で進めていたが、導入費用が高額とならない為、市長判断により９月の補正予算措置が決定し、令和５年 10 月 12 日にプレスリリース、10 月 23 日より窓口運用を開始した。　庁舎窓口サービス課の他、高齢者が関係する窓口と、地域包括支援センターの窓口に設置。　価格は、昨年度時点の見積もりで、１組３万円弱との事。

【現状】
導入後の市民や窓口担当者からは、実際に使用し、「音漏れが少ない」、「音が立体的に聞こえる」、「補聴器より良く聞こえる」、「聞き返しが不要になった」等の声があるが、職員からの利用促進の声掛けにはハードルが高いと感じている。
2004 年に発見された耳の周りの軟骨を介して聞こえのサポートをしてくれるものであり、この製品は、採用の結果、職員の方が大きな声で話す必要が無く、窓口対応がはかどり、大きい声を出さないためプライバシーの保護にも役立っている。また通常のイヤホンのように穴が開いていない為、メンテナンスが楽で、不特定多数の方が清潔に利用出来るとの事であった。　現状、利用者は少ない状況ではあるが、今後高齢者の居宅訪問時にも携帯し、活用を検討しているとの事。

【感想】
習志野市でも、聞こえに不安を感じている方が多くいらっしゃるので、この軟骨伝導イヤホンが、福祉サービスに繋がればと思います。

以　上

［起案（供覧）］　　［議会事務局］

起案	令和　年　月　日	決裁完了	令和6年8月8日	公印	令和　年　月　日
分類番号	A01-02-03	保存期間	5年		

議長		局長	次長	課長	係長	担当者
佐々木	／		濱田	濱田		

第8号様式（第8条）

令和６年８月８日

習志野市議会議長　佐々木　秀一　様

会派名　公明党
代表者名　布施　孝一

出張調査等報告書

習志野市議会政務活動費の交付に関する規程第8条の規定により、下記のとおり出張調査等報告書を提出します。

記

1	出張者名	布施孝一、金井宏志、田中慶子、丸山秀雄
2	用務先	行政視察（多古町「５歳児健診」について、横芝光町「自動運転バス実証実験」について）
3	出張期間	令和６年７月２４日（水）
4	調査等の結果概要	別紙のとおり
5	出張に伴う経費の精算	精算額　９，９８５円（レンタカー代） 2,550円（高速道路通行料金）

習志野市議会事務局 収 6.8.-8 受 第6-1-2号

視察報告	横芝光町 「自動運転モビリティ事業」に向けた 実証実験	報告日 ： 令和6年8月8日
		報告者 ： 金井 宏志

◆視察日 ： 令和6年7月24日(水)
◆視察先 ： 横芝光町民会館
◆担当者 ： 横芝光町役場 企画空港課 デジタル推進室 室長 [redacted]氏
横芝光町議会 町議会議員 総務経済常任委員会 委員長 川島富士子議員

【視察の目的】
ドライバー不足(2024 年問題)、高齢社会、若年流出などにより、全国規模で抱える地域公共交通問題の解決手段として、先進的に自動運転バス導入に向けた取り組みを進めている横芝光町の現状を視察し、今後の今後における公共交通対策のヒントとする。

【導入の背景】
横芝光町では、成田国際空港の機能強化や圏央道の整備によりヒトとモノの動きに大きな影響が生じることから、地域公共交通を一層充実させる必要性があった。その対策として、国の補助金が活用できることから、2023 年度より自動運転バスの公道走行の実証実験を進めた。

【現在の状況】
現在は<自動運転レベル 2>により、約 5.5km を時速 30 キロで 35 分間かけて走行し、一日 10 便で運行中。最大 25 人乗りだが現在は 15 人で実証中。 実証実験のため現段階での乗車料金は不要。車内の運転担当者と町民会館内の遠隔監視担当者の双方のオペレーターにより常時監視。将来的には<自動運転レベル 4>を目指し、運行ルートの拡大も進めていく。

【実施の体制】
横芝光町が専門業者に業務委託。町が電動バス車両1台(中国製を国内仕様にカスタマイズ)と遠隔監視システムをセットで購入。傘下に車両整備、オペレーター派遣、傷害保険、3D マップ、事業支援などの企業も参画。

【全体的な感想】
実際にバスに試乗したが走行は穏やかで安定している。右左折の際も違和感はない。ただ電気制御によるブレーキングは座っていても衝撃を感じることから、改善の必要性を感じた。
また現時点では踏切通過と私有地(ショッピングセンター駐車場)内では、安全のため手動による運転が必須。事故の際はオペレーターの過失となるとの解釈であることから、今後のリスク対策や責任の所在についても検討の余地がある。
大変に参考になった事業ではあるが、習志野市への導入については、交通量や利用者数、道路事情や費用面などの条件が異なるため、まだ充分な検討が必要かと思われる。

多古町 視察報告	「５歳児健診」について	報告日：8月　8日
		報告者：田中　慶子

・視察日：７月 24 日（水）
・視察先：多古町保健福祉センター
・担当者：保健福祉課 [redacted]課長、健康づくり係 [redacted]総括係長
　　議会事務局 [redacted]事務局長

＜視察目的＞
千葉県内で唯一「５歳児健診」を実施されているため、実施方法や課題など確認

＜導入の背景＞
平成３０年自立支援協議会において、療育の問題があがり、子ども子育て支援部会にて話し合いが行われた。その中、就学前健診では遅いこと。こども園での早期の声掛けが望ましいが、保護者への声掛けの難しさがあることなどがあるとの意見も出る。検討を重ね、
令和元年、５歳児健診実施事例の研修をし、令和２年度より実施に至った。

＜実施方法＞
対象となる５歳児はほぼ町のこども園に通園のため、こども園を通じて検診のお知らせ、他は郵送。健診実施場所は保健福祉センターにて、10 月終わりから 11 月中旬に３回に分けて実施。
事前に、保護者に対し５歳児健診の目的について心理士より講演を実施。目的の理解と共に保護者から園での様子もかんがえ、相談へのきっかけにつなげる。
また、こども園の保育士に向けても保護者への講演をした心理士が保護者への伝え方、声掛けの仕方などの研修を実施する。
集団の場面は心理士がこども園で観察。個別では問診票の記載をもとに、保護者、子ども、保健師で面談。その後、保健師から医師にかわり診察。
委託契約の発達支援センターや保健センター児童発達支援所等で相談、フォローを行う。
※５歳児健診実施により、
こども園での加配も増える中、進学にあたり学びの場の選択や、保護者の気持の整理する時間にもつながっていると感じられる。

＜感想＞
町立病院があり、そこからの医師との連携や、こども園が町で１つ等、人口が少ないコンパクトだからこその強みを感じました。習志野市において同じような実施方法はできませんが、事前の保護者への講演会や保育士への研修会の実施は必要性を感じ、学ばせていただきました。